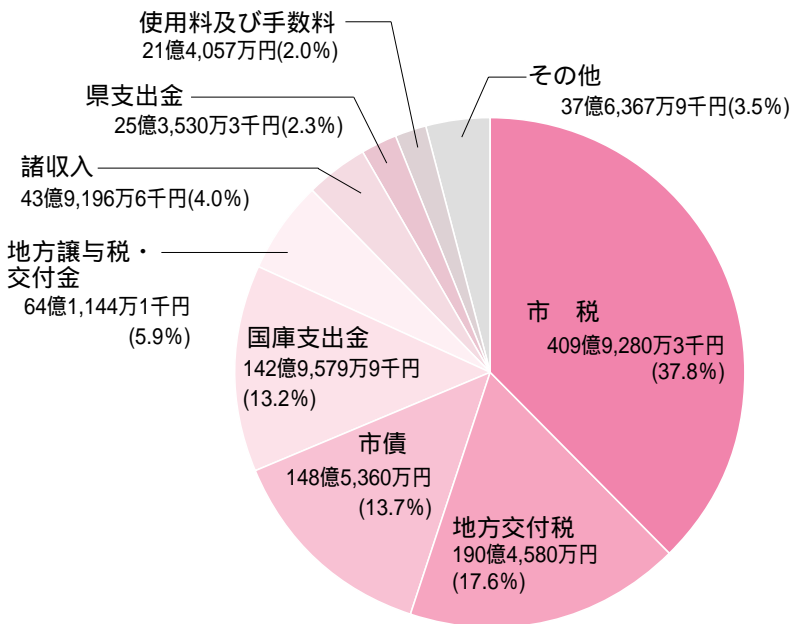


平成15年度決算報告

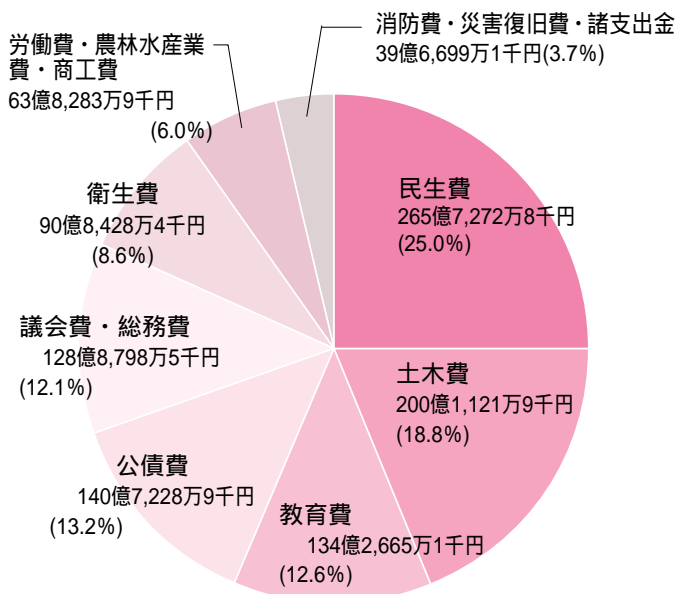
一般会計

一般会計は、福祉や都市基盤の整備、教育など市の一般的な事業に使われる経費のことです。歳入から歳出を差し引くと20億2,597万5千円が残り、ここから平成16年度に繰り越した事業のための財源である4億3,750万1千円を除いた、15億8,847万4千円が黒字になりました。

歳入 1,084億3,096万1千円



歳出 1,064億498万6千円



みなさんが納めた税金、国からくるお金など、秋田市の財布には、一般会計と特別会計を合わせ一千万八百万円近いお金が入ってきます。このお金がどのように動いたのか、秋田市の財政状況をお知らせします。

一千八百万億のやりくり

4・5ページには貸借対照表

15年度一般会計のおもな使いみち

民生費...福祉、保育、医療などに使いました。ケアハウス、保育所などの整備、福祉医療費の給付などを行いました。

土木費...道路や公園の整備、市営住宅の建設などに使いました。

衛生費...保健衛生、環境衛生などに使いました。健康診査や予防接種、家庭ごみの祝日収集などを行いました。

議会費・総務費...議会の運営、選挙、統計調査などに使いました。住民票・印鑑証明の自動交付やコミュニティセンターの整備、駐輪場の整備などを行いました。

教育費...小・中学校や公民館の施設整備、社会教育の充実などに使いました。山王中学校の増改築や八橋運動公園のリニューアルなどを行いました。

労働費・農林水産業費・商工費...労働者福祉対策、中小企業支援、農林水産業や商工業・観光の振興などに使いました。就業支援や、中小企業への融資、「市民の森」の造成などを行いました。



旭北コミュニティセンター



特別会計

特別会計は、介護保険や国民健康保険など特定の事業を行う場合、その収入を支出に充てるため、一般会計と区別している会計のことです。

会計別	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	差引額 (A) - (B)
土地区画整理会計	16億5,568万2千円	14億9,350万6千円	1億6,217万6千円
市有林会計	2億1,380万5千円	1億9,299万7千円	2,080万8千円
市営墓地会計	5,447万 円	3,922万9千円	1,524万1千円
中央卸売市場会計	6億6,077万 円	6億4,597万1千円	1,479万9千円
農業集落排水会計	4億 74万8千円	3億9,031万3千円	1,043万5千円
大森山動物園会計	6億3,722万1千円	6億2,691万1千円	1,031万 円
廃棄物発電会計	1億6,814万2千円	1億6,133万7千円	680万5千円
国民健康保険事業会計	212億 565万9千円	211億7,887万6千円	2,678万3千円
老人保健医療事業会計	295億7,697万5千円	292億8,046万5千円	2億9,651万 円
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	8,647万1千円	8,284万2千円	362万9千円
介護保険事業会計	142億1,998万2千円	135億3,012万1千円	6億8,986万1千円
合 計	688億7,992万5千円	676億2,256万8千円	12億5,735万7千円

Check!



「市債」と「基金」...

「市債」とは市の借入金のこと。これにより、学校のように将来までも役立つ施設の建設費を次世代にも平等に負担してもらうことができます。また、「基金」は、いろいろな目的のために用意しておく市の貯金です。15年度は、14年度よりも約11億円ほど増えています。

項目	金額
一般会計	1,393億2,293万2千円
土地区画整理会計	1億9,900万 円
市有林会計	17億3,770万3千円
中央卸売市場会計	19億7,764万2千円
農業集落排水会計	30億2,874万7千円
大森山動物園会計	6億7,720万 円
廃棄物発電会計	7億1,476万3千円
合 計	1,476億5,798万7千円

項目	金額
財政調整基金	31億5,080万8千円
減価基金	50億3,005万9千円
地域振興基金	1億9,155万 円
文化振興基金	3億1,949万 円
庁舎建設基金	63億3,125万8千円
ふれあい福祉基金	9億 461万 円
スポーツ振興基金	3億 23万 円
短期大学運営基金	19億9,725万6千円
美術作品等取得基金	2億1,254万7千円
国民体育大会運営基金	5,001万9千円
国民健康保険事業財政調整基金	1億6,521万7千円
介護保険事業財政調整基金	8億4,178万4千円
合 計	194億9,482万8千円

公営企業

企業決算では、営業面から見た収支を「収益的収支」、設備など所有財産の面からみた収支を「資本的収支」としています。

公営企業の経営は、市民ニーズを満たしながら、収益的収支に大きな赤字が出ないような経営が望ましいといえます。

右表の市立病院・交通局のほか、下水道部・水道局も公営企業会計を採用しており、下水道の決算は昨年(2015)の広報あきた11月26日号で、水道の決算は12月10日号でお知らせしています。

用語解説

収益的収支...その年度の企業の経営活動で発生した収益(収入)と、その収入を得るためにかかった費用(支出)のこと。収入はサービス提供の対価としての料金収入が主体で、支出はサービス提供に要する人件費、光熱水費、減価償却費などです。

市立病院

医療に対する市民のニーズに応えるため、高度医療機器の整備と診療体制の充実に努めました。

収益的収支	収入	90億1,025万8千円
	支出	90億5,605万4千円
	差引	4,579万6千円
	累積欠損金	27億8,743万1千円
資本的収支	収入	8億3,513万5千円
	支出	13億2,430万 円
	差引	4億8,916万5千円
	補てん財源	損益勘定留保資金など 4億8,916万5千円

資本的収支には消費税を含みます



市立秋田総合病院

資本的収支...支出には、住民に対するサービスの提供を維持したり、将来の利用増に対応し経営規模を拡大したりする建設改良費や、企業債(借入金)の元金償還金など、収入には、資産の取得などに要する資金である企業債(借入金)や国からの補助金などを計上します。

交通局

民間事業者の一部路線を移管し、事業規模の縮小による効率化や職員の接遇向上に取り組みました。

収益的収支	収入	12億7,504万9千円
	支出	14億 430万6千円
	差引	1億2,925万7千円21億
	累積欠損金	412万5千円
資本的収支	収入	-
	支出	-
	差引	-
	補てん財源	-



市営バス

損益勘定留保資金...収益的収支の支出に計上される減価償却費など現金支出を伴わない費用は、企業内部に留保された形の資金となります。これを費用化して、資本的収支の資金不足に充当する補てん財源の一部にすることができます。

(平成16年3月31日現在)

貸方... 昭和44年以降
資産をつくるために市が調達した資金

負債・正味資産合計 3,696億7,594万4千円

負債の部 合計 1,525億1,556万8千円

...今後支払いや返済が必要となる、将来の世代が負担する借金

1 固定負債

(1) 地方債 1,251億6,104万9千円

...市の借金(市債)の残高のうち翌々年度以降に返済が必要となる元金の金額

(2) 債務負担行為 0円

物件の購入等 0円

債務保証又は損失補償 0円

(3) 退職給与引当金 112億5,593万3千円

...年度末に在職する全職員が普通退職したと想定した場合の退職金の推計値

固定負債 合計 1,364億1,698万2千円

2 流動負債

(1) 翌年度償還予定額 160億9,858万6千円

...市債の借入残高のうち翌年度に返済が必要となる元金の金額

(2) 翌年度繰上充用金 0円

流動負債 合計 160億9,858万6千円

正味資産の部 合計 2,171億6,037万6千円

...資産形成のため調達した資金で返済の必要がない金額

1 国庫支出金 668億6,387万7千円

2 県支出金 58億 574万3千円

3 一般財源等 1,444億9,075万6千円

債務負担行為に関する情報

...年度を越えて続く契約による後年度の支出予定額や融資に対する債務保証の額などを示しています

物件の購入等 68億8,144万7千円

債務保証及び損失補償 55億7,864万9千円

利子補給等に係るもの 4億8,655万1千円

秋田市の財産と借金をお知らせします



前ページの決算報告は、一年間の会計年度に区切って、お金の出入りを記録したものです。その方式では、長期にわたって私たちの秋田市に蓄積された資産や負債(借金)がどのくらいあるのかは、わかりません。

そこで、秋田市が現在、道路や公園、教育施設、ごみ処理施設、市営住宅、保育所、消防施設などの財産をどのくらい持っていて、同時に将来支払わなければならない負債がどのくらいあるかを示した資料が、この貸借対照表(バランスシート)です。

ここには、市民のみなさんにサービスを提供するための秋田市の「資産」がどれくらいあり、またその資産についてこれまで支払いの済んでいるお金「正味資産」と、これから支払わなければならないお金「負債」がどれくらいあるのかが示されています。

なお、地方公共団体の活動目的は住民福祉の増進であることから、「利益」という概念を持っていません。したがって、この貸借対照表は「収益性」よりも「安全性」や世代間負担の「公平性」などを明らかにする視点に立って作成されています(総務省方式)。

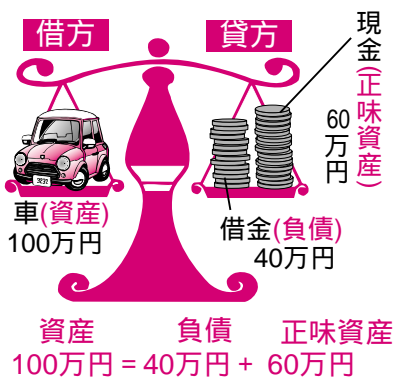


貸借対照表ってなに？

例えば、一般家庭で、現金と銀行から借りたお金で車を買ったとします。その結果、**資産**(車)を取得し、同時に銀行から借りた分の**負債**(借金)、現金で支払った分の**正味資産**が発生します。

資産・負債・正味資産の三つの状態を表したのが貸借対照表です。左側(借方)と右側(貸方)は、必ず同じ金額になることからバランスシートと呼ばれます。

一般家庭の場合



秋田市の貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表で わかること



資産の4割は
地方債に依存しています

地方債 1,252億円 + 翌年度償還予定額 161億円

負債・正味資産合計 3,697億円

= 資産形成に占める地方債の割合 38.2%

これまでいろいろな社会資本を整備するために借りている借金の割合を計る指標です。秋田市の場合、資産形成の際、約4割を地方債に依存しています。



秋田市の有形固定資産は
土木費と教育費が約8割
を占めています

有形固定資産の行政目的別割合を見ると、いろいろな行政分野ごとの資産の状態がわかります。

秋田市が所有する資産は、道路、公園、市営住宅などの土木費が約5割、小中学校、公民館などの教育費が約3割と、この2分野が大きな割合を占めています。



社会資本を整備したお金の
3分の2は支払い済み

正味資産合計 2,172億円

有形固定資産残高 3,300億円

= 社会資本形成世代間負担率 65.8%

道路・公園などの社会資本(=有形固定資産)を整備するためにこれまでかかったお金のうち、すでに支払いの済んだお金の割合を示すものです。この比率が高いほど将来世代への負担が少ないといえます。

秋田市では、約3分の2の支払いを終え、残り3分の1が将来の負担となっています。



御所野総合公園

借方... 昭和44年以降
市がつくったさまざまな資産

資産合計 3,696億7,594万4千円

資産の部 ... 将来の世代に残る財産や権利など

1 有形固定資産 ... 長期間にわたって行政サービスを提供するために使用される土地、建物、機械装置などの資産

(1)総務費	69億3,340万5千円	◀ 市庁舎など
(2)民生費	65億4,084万1千円	◀ 保育所、デイサービスセンターなど
(3)衛生費	333億6,208万3千円	◀ 保健所、総合環境センターなど
(4)労働費	36億2,215万5千円	◀ 労働者福祉施設など
(5)農林水産業費	60億6,380万6千円	◀ 農林道など
(6)商工費	22億3,288万7千円	◀ 観光施設など
(7)土木費	1,657億7,836万4千円	◀ 道路、公園、市営住宅など
(8)消防費	49億 506万7千円	◀ 消防庁舎、特殊車両など
(9)教育費	1,005億7,110万4千円	◀ 小中学校、公民館など
(10)その他	2,590万7千円	

有形固定資産 合計 3,300億3,561万9千円
(うち土地 810億2,206万円)

2 投資等

(1)投資及び出資金	99億2,080万2千円	... 各種団体への出資金など
(2)貸付金	17億1,376万8千円	... 返済期限が来ていない貸付金
(3)基金	138億1,096万円	
特定目的基金	103億696万円	... 庁舎建設基金など、特定の目的のために資金を積み立てているもの
土地開発基金	35億円	... 円滑な事業執行のため、公用・公共用の土地を先行して取得するための基金
定額運用基金	400万円	

投資 合計 254億4,553万円

3 流動資産 ... 1年以内に現金化することが可能な資産など

(1)現金・預金	103億7,702万3千円	
財政調整基金	31億5,080万8千円	
減債基金	50億3,005万9千円	... 市債の返済のための積立金
歳計現金	21億9,615万6千円	
(2)未収金	38億1,777万2千円	
地方税	30億2,053万円	
その他	7億9,724万2千円	

流動資産 合計 141億9,479万5千円

秋田市の場合

